

■地震概要～USGS 地震情報より

- ・発生場所：ESE of Lamjung, Nepal
- ・発生時間(現地時間)：2015-04-25 11:56:26 at epicenter
- ・発生時間(UTC)：2015-04-25 06:11:26 UTC
- ・Location:28.147°N 84.708°E
- ・Magnitude(Mw):7.8
- ・Depth:15km (9.3ml)

■現地日本人からの情報【個人情報ですので、取り扱いには十分ご注意ください】

○星野久史氏から (04/26 0:36)

現在のところ、大使館・JICA 関係者（専門家や JOCV,プロジェクトを実施しているコンサル、コントラクター、NGO 含む）は全員無事とのこと。

○檜垣大助氏から (04/25 22:12)

八木先生が、菅沼さんに電話連絡でき無事を確認したそうです。大使館に避難していたがその後自宅に戻ったとのこと。通信は携帯での連絡によるものの、電気・水道等止まっているとのこと。

○大津昭宣氏から (04/25 20:30)

本日11時すぎの地震は震央（カトマンズ北西約80km）のアンナプルナ山脈の北側です。震度は7.9カトマンズの震度は7.6で非常に激しいものでした。市内の通信が途切れがちな為全体の詳しい状況はわかりませんが、旧市内は大きな被害が出ており400人以上の死者が病院で確認サレイルヨウデス。（ネパール放送より）

在留邦人の被害は今のところ確認されていません。

○看舎邦亮氏から (04/25 23:03)

ラジュさんに電話しました。

ご家族を含め、無事だそうです。

車を運転中だったそうですが、4時間かけて自宅に戻ったとのこと。

ビムセンタワーや、クマリの館などが壊れ、建物や道路もひどく壊れているとのこと。

全国で停電中とのことでした。

その後も大きな余震があったそうです。

○ラジュ氏から (04/26 21:36)

いつもお世話になっております。

おかげさまで今のところ私たちは大丈夫です。

生活は大変になりそうです。

■マスコミ情報

○ネパール大地震 邦人 1 人含む 2500 人超死亡

4月27日 4時51分 NHK

ネパール中部で25日に発生した大地震では、エベレスト周辺で地震による雪崩に巻き込まれた日本人男性1人を含む2500人以上の死亡が確認されていて、被害の大きかった首都カトマンズには、各国の救助隊も到着し、倒壊した建物の下に閉じ込められている人たちの救助活動が続いています。

日本時間の25日午後、ネパール中部で発生したマグニチュード7.8の大地震で、ネパールでは、多くの住宅や歴史的な建造物が倒壊し、現地の警察によりますと、これまでに2430人の死亡が確認され、5900人以上がけがをしました。

また、この地震で外国人を含む多くの登山者が訪れていたエベレスト周辺で雪崩が起き、現地の日本大使館によりますと、いずれも50代の日本人の男女2人がベースキャンプの近くで雪崩に巻き込まれ、このうち男性が死亡し、女性がけがをしたということです。

また、地震の被害は周辺の国々にも広がっていて、インドで67人、中国のチベット自治区で20人、バングラデシュで2人が死亡したということです。

ネパールの首都カトマンズでは、旧市街地にある世界遺産に登録されている地区で、カトマンズの名前の由来にもなった歴史的な寺院が崩壊するなど大きな被害がでていて、倒壊した建物の下に閉じ込められている人たちの救助活動が続けられています。

また、余震を恐れて被災者の多くが広場などに集まり、屋外での避難生活を強いられているほか、多くの商店が営業を停止し、路線バスなどの公共交通機関の多くも運行を取りやめています。カトマンズには、インドや中国など各国の救助隊が次々に到着しているほか、日本の国際緊急援助隊も27日に現地入りする予定で、国際社会による支援の動きが本格化しています。

○国際緊急援助隊 ネパールに向け出発

4月26日 18時51分 NHK

ネパールで起きたマグニチュード7.8の地震で甚大な被害が広がっていることから、警察や消防などで作るおよそ70人規模の国際緊急援助隊が26日夕方、成田空港から現地に向けて派遣されました。

国際緊急援助隊は、海外で地震や津波といった大規模災害が起きた際に、災害が多い日本で培われた経験を生かそうと、被災した国からの要請に応じて警察や消防などから派遣されます。

25日にネパール中部で起きたマグニチュード7.8の地震では、首都カトマンズを中心に甚大な被害が広がっていることから、警察や消防、海上保安庁などで作るおよそ70人規模の国際緊急援助隊が派遣されることになり、成田空港で出発式が行われました。

この中で、外務省の国際緊急援助官の小林成信団長は「東日本大震災で受けた国際的な支援への恩返しのできる気持ちで頑張りたい」と決意を述べました。

援助隊は、▽警察が23人▽消防が17人▽海上保安庁が14人▽医師や看護師が5人などで▽災害救助に当たる警備犬4頭も派遣されます。

小林団長は「今回の地震はかなり大きく、その後も余震があるが、嗅覚の鋭い警察犬を活用して、建物が崩壊する前に取り残されている人を救出したい」と話していました。

援助隊は26日午後6時ごろ成田空港からチャーター機で出発しました。タイのバンコクを経由して27日の午後ネパールに到着し、救助活動を行うことにしています。

○防衛省 ネパールに自衛隊の調査チーム派遣

4月26日 18時00分 NHK

防衛省はネパールで起きた地震を受けて、現地に自衛隊の調査チームを派遣し、被害状況や必要な支援策について情報収集を行うことを決めました。

ネパールで25日起きたマグニチュード7.8の地震では、多くの住宅や歴史的建造物が倒壊し多くの犠牲者が出るなど被害が広がり、各国が現地に援助隊などを派遣する動きが始まっています。こうしたなか、防衛省は現地に自衛隊の調査チームを派遣し、被害状況や日本にどのような支援策が求められているのかについて情報収集を行うことを決めました。

調査チームは統合幕僚監部や航空自衛隊などの3人の自衛隊員で構成され、26日午後、日本を出発して首都カトマンズに入ることにしていて、防衛省は調査結果を踏まえて、自衛隊を国際緊急援助隊として部隊派遣する必要があるかなどを検討することになっています。

○ネパール地震:日米欧も救助隊派遣へ

毎日新聞 2015年04月26日 22時45分(最終更新 04月27日 00時49分)

ネパールの大地震では、日本の国際緊急援助隊が26日に出発した他、米国やドイツなど各国も救助隊派遣を表明。国連などの国際機関や国際NGO(非政府組織)も救援活動を始め、国際的な支援活動が本格化してきた。

日本の救助チームは警察庁や消防庁などの約70人。26日午後成田空港を出発し、バンコク経由でネパールの首都カトマンズへ向かう。外務省はさらに、2500万円相当のテントや毛布など緊急援助物資を供与すると発表した。

米国のケリー国務長官は、100万ドル(約1億1900万円)の緊急支援とともに、緊急支援チームと被災者の捜索・救出チームの派遣を準備していると表明した。AP通信などによると、ドイツは52人、フランスは11人の救助隊を派遣する。英国やロシア、イスラエル、パキスタンも派遣を決めた。

ビショップ豪外相も現地で活動する豪州のNGOや国連機関に500万豪ドル(約4億6000万円)の支援を行うと表明。韓国も100万ドル、台湾も30万ドル(約3600万円)の支援を発表した。

また、国際NGO「国境なき医師団」は26日朝、ネパールに隣接するインド・ビハール州から医療支援の4チームを派遣。別のNGO「ハンディキャップ・インターナショナル」も、現地にいたスタッフ47人による病院などへの支援を始めた。日本赤十字社の医師ら5人も同日カトマンズへ向かった。日本のNGO「ピースウィンズ・ジャパン」も救助犬2頭と6人の派遣を決めた。

ネパール出身の兵士「グルカ兵」を雇用するなど歴史的関係が深い英国では、キャメロン首相がツイッターで「ショッキングなニュースだ。英国はできる限りの支援を行う」と表明した。生き埋めになった人の救出を専門とする英国のNGOも、現地入りの準備を進めている。

一方、国連の潘基文(バン・キムン)事務総長は25日、「国際的な捜索・救助活動を調整してネパール政府を支援しており、大規模な救援活動を始める準備をしている」という声明を発表した。

○ネパール大地震 長さ150キロの断層動いたか

4月26日 14時42分 NHK

25日ネパールで発生したマグニチュード7.8の地震は、長さおよそ150キロ、幅およそ120キロの断層が、最大で4.1メートル以上ずれ動いて起きたとみられることが専門家による解析で分かりました。

専門家は首都・カトマンズの周辺で断層のずれが最も大きく、揺れが大きくなった可能性があるとしています。

筑波大学の八木勇治准教授は世界各地で観測された地震のデータをもとに、今回の地震を引き起こした断層について解析を行いました。

それによりますと、25日の地震はユーラシア大陸が載ったプレートとインドが載ったプレートがぶつかっている周辺で発生し、断層の大きさは長さおよそ150キロ、幅およそ120キロと推定しています。

断層の破壊はおよそ60秒にわたって震源から東南東の方向へ進み、最大で4.1メートル以上ずれ動き、震源の東側に位置するカトマンズ周辺の深さ10キロ付近でずれが最も大きかったと解析しています。

八木准教授は「カトマンズでは、断層が大きくずれ動いた場所が近い場所だったため揺れが大きくなり、被害につながった可能性がある」と話しています。

■震源地位置図（高橋透氏情報）

